

経営比較分析表（令和6年度決算）

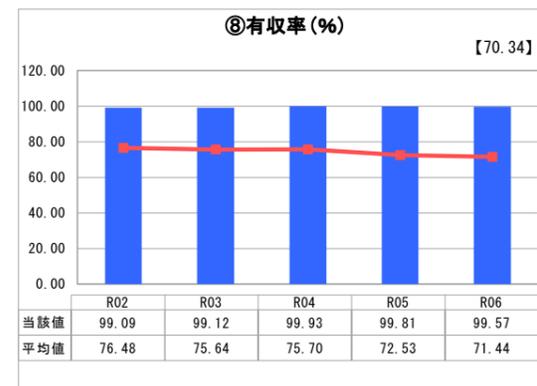
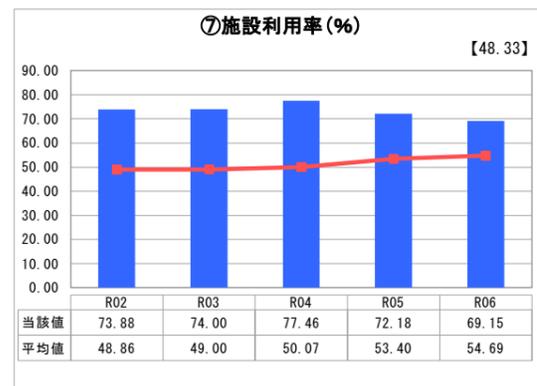
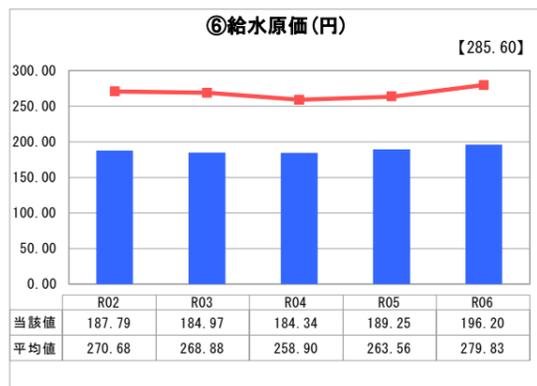
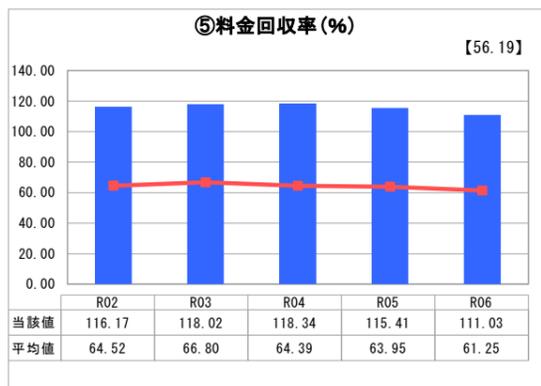
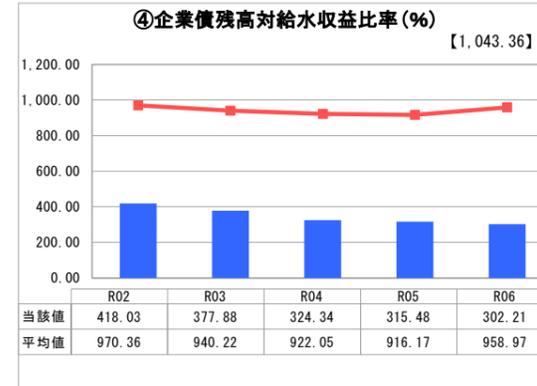
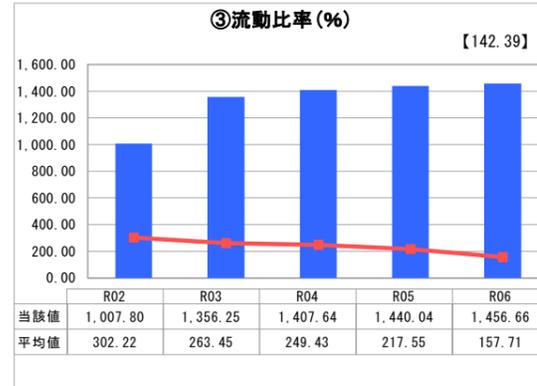
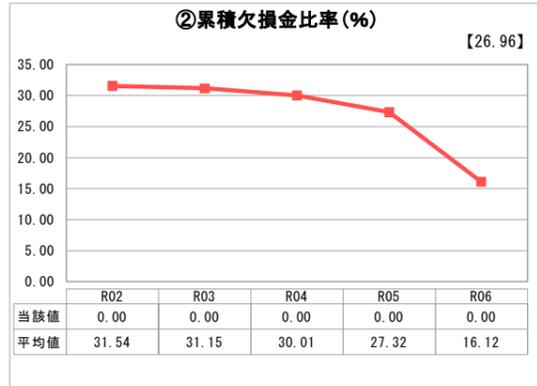
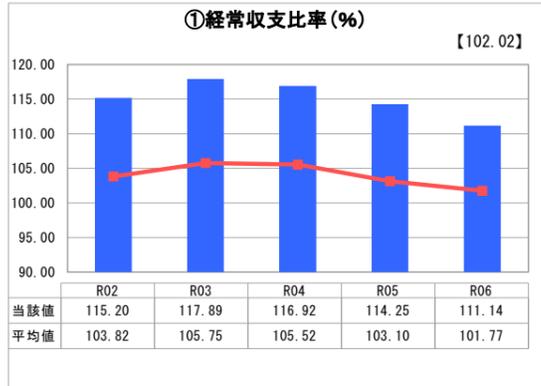
香川県 直島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	77.35	99.93	3,740	

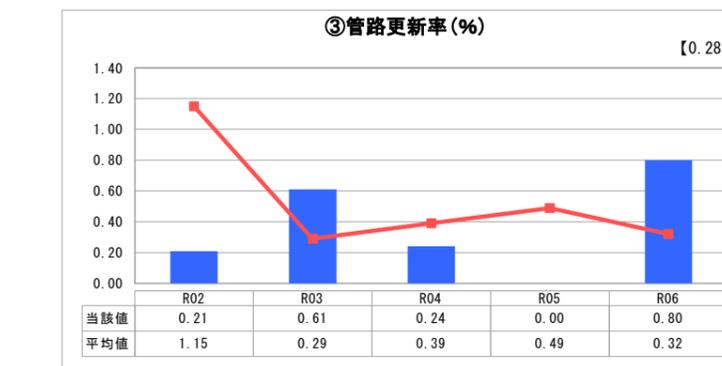
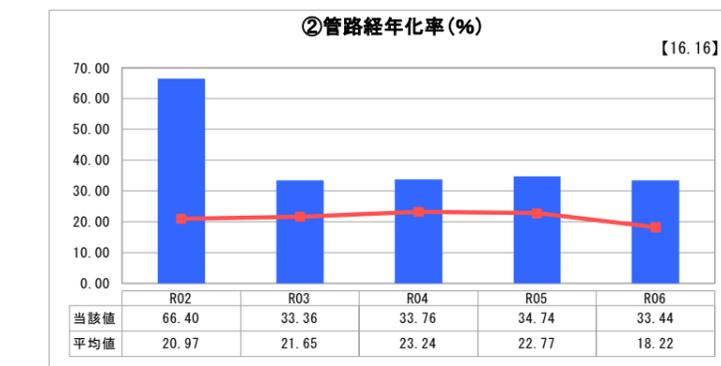
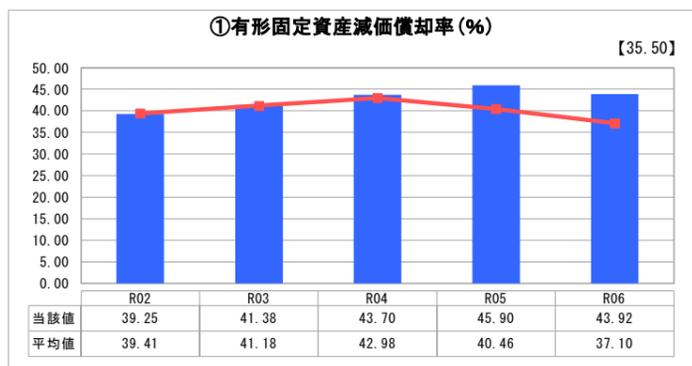
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,896	14.21	203.80
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,885	4.09	705.38

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は110%以上を維持しており、現状の経営状況は比較的安定している。ただ、給水収益の減少に伴って徐々に低下傾向にあるため、今後の事業環境を予測したうえで、事前の対策が必要となる。
- ② 令和元年度以降、単独事業費の増加やエネルギー価格等の高騰が見られるが、今後も0%を維持するよう収益を維持していく。
- ③ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により下落したが、以降高い流動比率を有しており、短期的な支払能力に問題はなく、健全な経営状態にあると言えるが、流動負債が増えないよう努力したい。
- ④ 起債の償還額が減少しているため比率は下がっているが、今後、耐震化工事等のために企業債残高が増える可能性があるため注視していきたい。
- ⑤ エネルギー価格等の高騰等はあるが、料金回収率は100%を上回っている。給水に必要な経費はすべて水道料金で賄うことが出来ているが、近年は減少傾向であるため、今後の状況を注視していきたい。
- ⑥ 類似団体の平均を大きく下回っているが、エネルギー価格等の高騰及び維持管理費の増加により上昇傾向にある。
- ⑦ 類似団体より高く遊休資産は少ない。施設規模及び配水量は適切であると言えるが、今後も安定した供給ができるよう努力したい。
- ⑧ 有収率は類似団体の平均よりも高く、100%に近い数値で推移できている。今のところ漏水対策等が適切に行われていると考えられるが、老朽管は多くあるため、計画的に更新していく。

2. 老朽化の状況について

- ① 現在、老朽化の進んでいる施設の更新を行っており、今後減少に転じる見込みであるが、他団体と比べ率が高いため計画的に施設の更新をしていく。
- ② 令和3年度以降増加傾向にあるが、海底送水管の改良を実施しており、配水管の更新が多くできていないためである。今後、平均値に近づきよう計画的に施設の更新をしていく。
- ③ 更新率は1%前後を推移している状況である。更新率の上昇を目指し、計画的に更新していく。

全体総括

経営状況は非常に安定しており、資金等も確保されていると言える。今後も効率的な経営を続けていき、住民に安心安全な水を届けられる体制を確保したい。しかしながら、料金収入は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで戻っておらず、今後人口減少等により、黒字額の減少が予想されるので、今以上の経営状況の改善策を検討していく。

一方、管路については老朽化が目立っており、さらなる更新の必要性がある。水道基本計画に基づいた施設の更新事業は完了したので、今後は計画的な配水管の更新が求められるが、同時に投資の増大も予想される。

令和2年度に公表した経営戦略（令和元年度～令和11年度）に基づき、長期的な経営状態を予測し、必要な投資はしながら健全かつ持続可能な経営を目指す。